

新選組を語る ⑬

石田散薬 その後

土方歳三が行商していたこと
で、大河ドラマでも有名になっ
た石田散薬は、歳三の生家土方
家に伝わる家伝薬である。江戸
時代の文人・狂歌師大田南畝
(蜀山人)も、幕府の役人とし
て多摩川巡検をしたときの日記
に「石田村の農夫隼太(土方氏)
がもとにて昼の餉をくつ、ある
じは医をよくして、骨接の薬を
ひさぐ」(『調布日記』文化6年
(1809)2月22日)と記し
ている。土方歳三と石田散薬に
ついては、「新選組を語る」
(平成16年3月1日号)広報)で



▲「明治16年 村順帳」(土方歳三資料館所蔵)

故谷春雄氏が解説しておられる
が、その後明らかになったこと
をいくつか紹介しておきたい。

石田散薬の薬効

東京都薬剤師会北多摩支部と
東京薬科大学では、平成15年か
ら石田散薬プロジェクトを結成
し、石田散薬の復元と成分分析
を行い、その薬効の検証を試み
ている。昨年は日野市でも、同
大学の山田健二先生とプロジェ
クトチームの薬剤師さんのご協
力を得て、石田散薬を作ってみ
る体験学習会が行われた。この
時次のようなご教示を受けた。

日野の歴史と民俗

83

たことが
判明し
た。黒焼
きの薬の

これまで、石田散薬は昭和23
年(1948)、旧薬法が改正
されたおり、さしたる薬効がな
いということ、薬としての認
可を却下され、それを機に製造
が中止されたと伝えられてきた
が、それは少し違つたというので
ある。

黒焼きの薬の成分を抽出する
ためには、高度な性能を持つ分
析器が必要で、昭和23年ころに
は、まだそのようなものはな
かつたのである。当時の薬事行
政の一環として、家伝薬として
細々と家内生産されてきた黒焼

き(黒焼)の薬を、薬としての認可
を取り消そうという方針が立て
られたというのが真相。昭和24
年6月21日付「薬事日報」には、
「黒焼は医薬品でない」という
見出しで、「厚生省としては一
般に黒焼は医学薬学上その効能
効果があると考えられないので
医薬品として認めない方針であ
り一般商品として取り扱うもの
である」と記されている。石田
散薬に薬効がないことが、科学
的に実証されたわけではなく、
黒焼きの薬だからという理由で
薬としての認可を得られなかつ

たこと
判明し
た。黒焼
きの薬の

ここに記されている委託先を
訪ねてみると、石田散薬に関す
る新たな資料を見つけることが
出来るかもしれないし、実際に
効能があつたのかどうか、服用
していた人の話を聞けるかもし
れない。まだまだ、研究の余地
が尽きない石田散薬である。

(日野市ふるさと博物館嘱託・
北村澄江)

(注)社東京薬剤師会北多摩支
部のホームページを参照。ミゾ
ソバの葉には、鎮痛効果があ
り、リュウマチの薬に用いる

「村順帳」から分かること

土方家に伝わる明治16年(1
883)の「村順帳」は、石田
散薬の販売先が記されている資
料である。当時の多くの薬がそ
うであつたように、石田散薬も
村の雑貨屋などに委託して販売
されており、同書にはその委託
先が426件記されている。その範
囲は、多摩地域にとどまらず、
都内は豊島・世田谷あたりまで、
神奈川県は川崎・横浜、山梨県
は大月・上野原、埼玉県は所沢
などかなり広範囲にわたつてい
る。明治期の資料であるが、江
戸時代の販路もそう大きく変わ
るものではなかつたと推察され
る。土方はどのあたりまで行商
して歩いていったのか、興味が湧
いてくる。

会員募集

先着順で掲載します。2度目以降
の掲載は前回掲載日の3カ月後から
受け付けます。

広報2月1日号10面に一部印刷の
汚れがあり、ご迷惑をおかけしまし
た。なお、広報今号で印刷の不鮮明
な個所に掲載されていた記事を再掲
載します

英会話「ブルスカイ」 毎週木
曜日午後6時45分～8時15分/生活
・保健センター/ネイティブ・スピー
カーの講師あり/英検3級程度から
対象/1万5千円程度(10回)/前
谷(☎583-1903)

**女声合唱団「コーロ・フィオレッ
ティ」** 毎週火曜日午前9時30分～
正午/勤労・青年会館など/月4千500
円 見学歓迎/増田(☎584-0564)

ダンスサークル「リパティ」
毎週木曜日午後7時10分～9時10分
/湯沢福祉センターなど/スポーツダ
ンス/中級程度対象 プロの指導あり
/入会金2千円、月3千円/阪田
(☎583-9988)

**バドミントンクラブ「フェニッ
クス」** 毎週木曜日午前9時～正午、
土曜日午後1時～5時/南平体育
館など/月2千円/緒方(☎586-
2885)

日野マジッククラブ 毎月第3水
曜日午後2時30分～4時30分/新町
交流センターなど/入会金1千円、月
1千500円 初心者歓迎。指導あり/
小倉(☎586-0367)

朗読の会「たんぼぼ」 毎月第2
・第4木曜日午前11時～正午/福祉
支援センターなど/発声・童話・詩など
/入会金1千円、月3千円 指導あり
/若杉(☎583-1243)

手編みサークル 毎週木曜日午後
1時～4時/新町交流センターなど/
初心者歓迎/1回1千円/鈴木(☎
584-9133)

囲碁クラブ「井目会」 毎週水曜
日午後1時～5時/中央公民館など/
月1千500円 女性・初心者歓迎。指
導あり/村上(☎586-0863)

テラコッタの会 毎月第1～第3
火曜日午前10時～正午/中央公民
館など/入会金2千円、月4千円 初
心者歓迎。指導あり/成島(☎583-
5293)

**ジャズ・ポピュラーピアノを弾く
会「アド・リブ」** 毎月第4土曜日
午後1時～5時、6時～9時30分/
五小、南平小など/月1千500円/内
田(☎592-7152)

幼児クラブ「ココロ」「ピヨピヨ」
週1～2回/生活・保健センターなど
/1～2歳児は親子で遊ぶ、2歳6
カ月～4歳児は子どものみ 有資格
者が指導/入会金3千円ほか実費/
広瀬(☎585-5626午後5時以降)

多摩舞踏研究会(社交ダンス)
①入門コース...毎週日曜日午後1時
15分から②初級コース...毎週日曜日
午後2時10分から/湯沢福祉センタ
ーなど/月①2千円②3千円 指導あり
/松田(☎593-2182)

**アメリカ人の先生と英語で遊ぶ会
「ピーカブー」** 4月からの金曜日
午前10時～10時45分(2～3歳児)
11時～11時45分(1～2歳児)/四ツ

谷地区センターなど/英語の歌でリト
ミック、工作ほか/費用等、詳細は問
い合わせを/保谷(☎・☎587-7981)

囲碁と俳句のサークル 南平駅西
交流センターなど/詳細は問い合わせ
を/森(☎592-0059)

幼児サークル「ひよこの会」 毎
週木曜日/東部会館など/リズム遊び
(1～3歳児) 子どものみのクラス
(3～4歳児)/月3千円/塚本(☎
586-3780)

いにしえ体操会 毎週水曜日午前
9時～10時45分/ひの社会教育セン
ター/中高年女性向けストレッチ体
操とフォークダンス/年6千円(保
険料など)/葛野(☎581-4047)

社交ダンス「ひまわり」 4月か
らの毎週金曜日午後1時～3時/湯
沢会館など/新設のため初心者対象/
入会金1千円、月3千円 プロの指
導あり/横野(☎080-1171-1239)

自彊術 毎週水曜日午前9時30分
～11時/平山地区センターなど/呼吸
法と関節を動かす健康体操/月2千
500円/衛藤(☎591-7280)

バドミントンクラブ「ルディ」
毎週月曜日午前9時～正午、毎月第
1木曜日・第2～第4火曜日午後1
時～5時/南平体育館など/入会金2
千円、月2千円 指導あり/小暮(☎
592-6346)

ご協力ありがとうございます スマトラ島沖地震災害救援街頭募金

市では、1月26日から2月11日ま
で日野駅、豊田駅、高幡不動駅及び
百草園で募金活動を行いました。救
援金は108万7千197円になり、この
救援金は日本赤十字社に送金しまし
た。皆様のご支援・ご協力ありが
うございました。



日野市と日野市国際交流協会では
災害復興のための救援金を募って
います。市役所1階市民相談窓口・4
階総務課、七生支所、豊田駅連絡所、
日野市国際交流協会(生活・保健セ
ンター内)に3月31日(木)まで救援金
の受付窓口を設置しています。

なお、直接送金される場合は、振
替用紙の通信欄にスマトラ島沖地震
と記入し、郵便振替で「口座番号・
00110-2-5606、口座名義・日本赤
十字社」へお振り込みください。
【問合せ先】総務課

去る1月29日に一小で、昨年
10月23日に発生した新潟県中越
地震被災地支援のための復興義
援金活動が行われました。当日
は40人を超える方の参加があ
り、軽食販売の売上金やフリ
マーケットの寄付金等が被災地
へ届けられました。一日も早い
復興をお祈りします。



一小で新潟県中越地震復興義
援金活動

ますの話題